

科目		単位 (時間数)	開校時期	講師名 (職名) (時間数)	
健康教育技法		1 (30)	1 学期	① 伊藤 美栄 (助産師) (6)	② 並崎 直美 (助産師) (10)
				③ 淵元 純子 (助産師) (2)	④ 清水 一美 (助産師) (4)
				⑤ 堀 綾子 (臨床心理士) (8)	
目 標					
健康教育の原理と技法を理解し、女性の一生を通しての性と生殖に関わる健康問題について、助産の実践に必要な相談・教育・援助技術の基礎的技術を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	健康教育の理論、技法	1) 健康教育とは 2) 健康教育の課題 ・健康教育の歴史的変遷 ・これからの保健指導 ・個別健康支援プログラムの必要性 3) 保健行動モデル ①保健行動の定義・分類 ②セルフケア行動とコンプライアンス行動 ③保健行動のモデル 宗像のシーソーモデル ヘルス・ビリーフ・モデル プリシード-プロシードモデル、P/W モデル 4) ヘルスプロモーションの考え方 ①ライフスキル ②ヘルスプロモーションのライフスキル	講義	①伊藤 美栄
2	2	健康教育の実際	1) 健康教育の基礎理論の活用 ①小集団形成過程の理解 (形成期-混乱期-規範期-活動期) ②リーダーとリーダーシップスタイル 2) 健康教育と保健指導の形態 個人指導と集団指導	講義	
3	1		3) 集団指導に応用される討議法 ・集団討議法 (ラウンドテーブル・ディスカッション) ・シンポジウム ・パネルディスカッション ・フォーラム、バズセッション 4) 健康教育における教育技術 ・仲間集団討議 (ピアグループ・ディスカッション) ファシリテーターの役割 ・講義・講演法 ・体験・参加型教育	講義	
4	2	健康教育技術演習	1) 学級活動の企画・運営・評価 (1) 健康教育のプロセス (2) 保健指導技術 (演習) ①健康ニーズの把握と対象のアセスメント ②教育目標の設定、企画書作成の実際	講義 GW	②並崎 直美
5	2				

6	2	健康教育技術演習	(3) 指導案の作成 (4) 実施と評価 計画：組織図、役割と責任、評価計画 ヒト、モノ、カネ、時間、場所の計画 評価：プロセス評価、成果効果 企画評価	講義 GW	②並崎 直美
7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生への性教育講座 「赤ちゃん講座」</li> <li>・妊婦と家族への出産前準備教室 「ファミリー教室」</li> </ul> 企画書検討会	演習 GW	
8	2				3) 訪問指導技術（演習） ・家庭訪問
9	2		女性のライフサイクルにおける性と生殖に関する健康問題と援助	1) 思春期女性の健康問題とケア 摂食障害、月経異常、性感染症 思春期を対象とした性教育 ピア・カウンセリング	
10	2	カウンセリングの技法			1) 「聴く」ことの基本姿勢 ①カウンセリングの定義 ②カウンセリングの対象と目標
11	2		2) 治療的なコミュニケーション 望ましい応答・望ましくない応答 (ロールプレイ)	講義	
12	2	3) カウンセリングの基本 ①ノンバーバルコミュニケーション ②ネガティブ・メッセージの伝え方 ③アサーティブとネゴシエーション ④カウンセリングの「枠」：時間、料金、部屋 ⑤治療的距離			講義
13	2		4) カウンセリング技法 ①明瞭化、要約、探索、反映 ②自己開示 ③ピア・カウンセリング ④グループワーク	講義	
14	2	終講試験 (45分)			①
15	2	授業形態 講義、演習			
16	1	評価方法 筆記試験 100点 (講師① 40点、講師② 30点、講師⑤ 30点) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。			
		テキスト 講師①～⑤ ・助産学講座5			
		参考図書等 ・国民衛生の動向 2023/2024 ・助産学講座8 ・京都市保健事業のてびき (印刷配布)			
		備考 講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。			